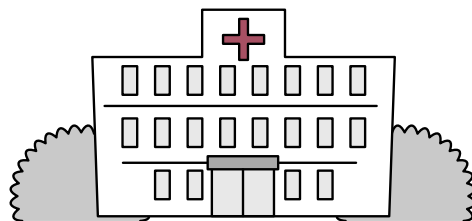


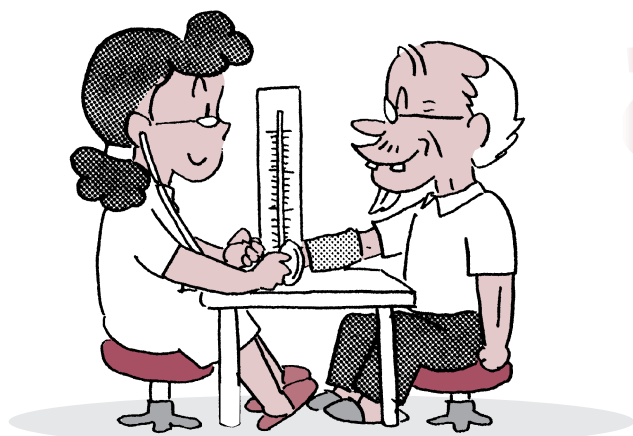
あなたは



かかりつけ医を

おもち

ですか



市民病院事務局 66 2205

皆さんは、「大病院志向」という言葉を聞いたことはありませんか。「大きい病院には専門医がそろっているから安心だ」という患者さんの心理を表した言葉です。

だれもが、病気にかかったときには安心できる病院にかかりたい、と思うでしょう。確かに診療科のそろっている大きい総合病院には、毎日多くの患者さんが受診します。しかし、どんな病気のときも、大きい病院で診察してもらったほうがいいのでしょうか。

＋ 医療機関が地域で担う役割

医療機関には、地域で担う役割があり、一次医療機関と二次医療機関とに分けられます。それぞれ、次のような役割を担って、皆さんの生命と健康を守っています。

一次医療機関

一次医療機関は、地域の住民の健康を守るために、病気の初期症状の診察や健康などの相談に応じる医療機関です。皆さんの地域にある診療所（医院やクリニックなど）がそれにあたります。

診療所では、皆さんの病気や健康の不安にいつでも応じることができるように、診療時間も午前・午後とあり、土曜日も午前中は、ほとんどが診療しています。難しい症状の時は、最適な専門医療を受けられる病院や施設へ紹介もします。

二次医療機関

二次医療機関は、専門的な医療を必要とする病気の診療や、救急車で搬送された患者への応急処置、入院医療などを行います。

市民病院の役割

市民病院は、地域の中核病院として、主に入院医療や専門医療を担当する二次医療機関です。

市民病院では午前中の外来診療が終了すると、午後は入院患者さんの手術や特殊な検査を集中して行います。そのため、原則として、一般の患者さんの外来診療は行っていません。

かかりつけ医の役割

かかりつけ医とは、皆さんが病気になるたとき、気軽に受診でき、普段から自分や家族の健康状態を相談できるお医者さんのことです。これは、一次医療機関の大切な役割であり、地域の医院や診療所などがこの役割を担っています。